

	実践内容	アンケート内容	4段階評価		平均	昨年	○成果 ●課題 □改善方策	学校関係者評価委員の評価・所見	
			生徒	保護者					
学習に関して	1 「わかる授業」実現のための指導方法工夫改善	■先生の授業は分かりやすいか。	生徒	3.2	3.1	3.1	○主題研究で道徳の授業と評価について研究を行った。 ○一人一研究授業を実施し、教師相互に評価し合い、工夫改善に努めた。 ○授業態度はどの学年も概ね良好である。 ●学力の二極化が懸念され、低学力層のさらなる引き上げが望まれる。 □授業における基本的な学習態度や習慣、話し合いの仕方などの共通理解・共通実践を行う。	学習に関して ○授業を参観したが、きちんと授業を受けている生徒がほとんどであった。 ○外部人材を活用した取組を行っているが、職業観は早く身につけると学習にも意欲がでるので良いと思う。 ○パソコンやエアコンの設置が進んでおり、学習環境が整備されてきていると感じる。 ●学力が二極化しているということだが、適切な指導をお願いしたい。 □先生も企業と同じで資格をもってそれを生かすようなしくみになっていくのではないかな。	
		■先生の授業は分かりやすいと思うか。	保護者	3.0					
		■分かりやすい授業を工夫しているか。	職員	3.0					
	2 保護者と協力しながらの家庭学習の充実	■毎日宿題や宅習をきちんとしているか。	生徒	3.6	3.2	3.2			○課題や宅習には概ね取り組んでいる。 ●課題や宅習の提出が遅れる生徒が固定化している。 □家庭学習の指導や啓発を継続していく必要がある。
		■毎日家庭学習をきちんとしているか。	保護者	3.2					
		■家庭学習を充実させる指導をしているか。	職員	2.7					
3 自立した社会人・職業人の育成を目指すキャリア教育の推進	■将来の生き方を考え意欲的に学習しているか。	生徒	3.1	2.9	3.0	○外部人材を活用した授業を数多く行うことで、より生の声を生徒に伝え、将来を真剣に考える機会にできた。 ●生き方や将来の職業について学んでいるが、それが必ずしも学習意欲や学習量に結びついているとは言えない。 □次年度、ワーキングスタディー等、保護者にも参観していただけるよう計画した。			
	■意欲的に学習するよう指導しているか。	保護者	2.6						
	■意欲的に学習するよう指導しているか。	職員	3.1						
生活に関して	4 保護者の協力を得ながらの時間を守る態度の育成	■時間を守って学校生活を送っているか。	生徒	3.5	3.5		3.5	○概ね時間は守られている。 ●遅延気味で登校する生徒は固定化している。 □遅延気味の生徒に関して、家庭の協力を得ながら生活習慣の確立を目指す。 □登校時間の見直しを行うとともに、時間厳守(2分前行動・下校時間)について意識して指導をしていく。	生活に関して ○時間を守ることや生徒指導的な面は落ち着いている感があるが、気を抜かずきちんとした指導を継続してほしい。 ○昨年、一昨年と文化発表会の合唱コンクールを見学したが、生徒は一生懸命歌っていた。良い取組である。 □昨年度まで2年間卒業式に参加したが、送辞や答辞、歌の指揮者などほとんどが女子であった。女子の方が活躍している感がある。
		■時間を守るよう指導しているか。	保護者	3.4					
		■時間を守るよう指導しているか。	職員	3.7					
	5 保護者の協力を得ながらの基本的な生活習慣や態度の育成	■学校の約束(身なり・きまり)をしっかり守っているか。	生徒	3.6	3.6	3.6	○概ね守られている。 ●校外での生活において、帰宅時間やゲームセンター出入り等、指導をする場面があった。 ●一部容儀服装の乱れがあった。 □今後も校則等を守る意義について家庭の理解を得る働きかけを行うとともに、教職員の共通理解のもと指導を徹底する。		
		■学校の約束を守るよう指導しているか。	保護者	3.5					
		■学校の約束を守るよう指導しているか。	職員	3.7					
6 生徒の主体的な活動を充実させ、積極的に取り組む態度の育成	■清掃・係活動・生徒会活動にきちんと取り組んでいるか。	生徒	3.6	3.5	3.5	○無言清掃は徹底できている。生徒会活動についても主体的に取り組む様子が見られる。 ○学力クラスマッチ等、生徒会主催で学級の団結を促すような取組が行われた。また、SCWでは地区生徒会単位での活動を行うことができた。 □今後も生徒会役員を中心に、生徒会主体の活動を活性化し、取り組んでいくことで、生徒の団結と活力を高めていきたい。			
	■清掃・係活動・生徒会活動の指導をきちんと行っているか。	保護者	3.5						
	■清掃・係活動・生徒会活動の指導をきちんと行っているか。	職員	3.4						
心と身体に関して	7 思いやりの心と、人権感覚を身につけた実践力ある生徒の育成	■いじめ・嫌がらせ等、絶対許さない気持ちをもっているか。	生徒	3.6	3.5		3.5	○概ね良好な人間関係の元で助け合い協力し合いながら生活している。 ●心ない言動も見られ、教育相談アンケート等での訴えをもとに指導をした場面もあった。 □働き方改革を進め、できるだけ生徒とふれあう時間を確保し、細かな変化にも迅速に対応したい。また、注意を要するケースは学校として対応する。 □生徒の健全な成長のために学校と保護者が協力するという姿勢で臨みたい。 □今後もQUや悩みアンケートを定期的実施していきたい。	心と身体について ○大部分の親は一生懸命子育てをしている。 ●保護者が学校をたよりにする傾向が見られるので、啓発をしていく必要がある。 ●学生時代に問題の常識を持っているか疑わしい保護者がいる。給食費などを払ってもらえないこともある。 ●以前は家庭の多くが祖父母と同居して安定した子育てができる状況だったが、今は核家族化になっており、二極化している。
		■させない指導とアンテナを高くしているか。	保護者	3.4					
		■させない指導とアンテナを高くしているか。	職員	3.5					
	8 時と場に応じた態度であいさつできる生徒の育成	■あいさつがきちんとできているか。	生徒	3.6	3.4	3.1	○集会等では正座で礼を行うが、全員きちんとした態度で行うことができる。また、日常のあいさつも気持ちの良くできる生徒が多い。 ●校門や地域での不特定の相手を対象としたあいさつは苦手とする生徒がいる。 □様々な場面であいさつの意義や必要性を指導し、一層の意識付けを図っていきたい。		
		■あいさつがきちんとできよう指導しているか。	保護者	3.3					
		■あいさつがきちんとできよう指導しているか。	職員	3.4					
9 健康の増進と体力の向上に意欲的に取り組む生徒の育成	■むし歯の治療や体調管理に気をつけ、欠席等少なくなるよう努力しているか。	生徒	3.6	3.3	3.4	○2学期までの皆勤者数は、全学年(302名)で120名ほどおり、昨年度と同じ程度で高いと言える。 ●むし歯の治療率は87.4%だが昨年度より低い。病気や不登校による長欠者数が3名おり、様々な取組をしているがなかなか改善しない状態にある。 □欠席者への電話連絡や3日欠席が続いた際の家庭訪問、級友の力を借りた支援等、長欠者をつくらぬ取組を継続する。			
	■体調管理に気を付け、欠席等少なくなるよう努力しているか。	保護者	3.5						
	■体調管理に気を付け、欠席等少なくなるよう努力しているか。	職員	2.9						
関家庭に	10 保護者と協力しながら、情報機器の使用について考え、正しい実践力の育成	■家庭で情報機器(PC,スマホ,TV等)を用いて約束事を決め守っているか。	生徒	3.2	2.9		2.3	○情報教育については、専門化を招いての講話の他、終業式等を利用した全体指導、日常的な学級指導を行っている。 ●スマートフォン使用については保護者も手を焼いている状況がある。学校と保護者が協力して適切な使用に結びつける必要がある。 □国・県・市のチラシ等を積極的に活用し、途切れない指導を展開する。	家庭に関して ●中学生のスマートフォン使用についての課題は全国的なものであるが、延岡中学校も保護者への啓発とともに、生徒への適切な指導が必要である。
		■情報機器使用の指導を行っているか。	保護者	2.6					
		■情報機器使用の指導を行っているか。	職員	2.9					